

< 静止作業 (内職) タイプ? 行動作業 (多種類) タイプ? >

=特性と特徴、性格から見分ける大切さ=

性格・特性・特徴は「成長と共に、変化します」よね。

保護者の方の子どもに対する「情報更新」は出来ていますか?

★★ 「出来なかったことが出来るようになっていた。」 など… その逆もありですよ!

就労は、一般就労、A型、B型、生活介護の選択だけでなく、移行支援、就労定着支援、自立訓練などもあります! 本人の性格・特性・特徴の情報更新をし、将来に向けていい選択をしたいですね☆

- ケース① 体力かつ運動神経がある。作業は手順表(文字(視覚))理解などが得意で、それがあれば1人でも出来る! ただ、口頭指示(言葉)による聞き取りや、物事の理解が苦手という場合
 →特徴的には、行動作業の方が向いてそうですが、言葉や文字での理解が苦手となると厳しい部分が出てくるかも…。手順がそれなりに決まっていればルーティン化する事で作業が出来るなら、静止作業の方が向いているのかも… (※ただし、余暇の充実が重要!)
- ケース② 言葉や文字でのやり取りが可能(及びある程度可能)。だけど、協調性や周りとの調和などが苦手。などの場合
 →行動系の作業は、協調性と周りとの調和(コミュニケーション) がとれないと大変かなあ…。決められたことを個人で進めていき、分からない事を聞くという内容などが向いているかも…

あくまでも無限にあるケースのごくごく一部の場合です。 現在と過去からの継続されている興味や特徴と現在の状況と状態を踏まえて考えていく事が重要です。例えば、言葉でのやり取りが出来ないとしても、絶対何らかのアプローチや変化はあるはず。保護者の方の「子どもに対する情報更新」が重要となります。また今の時代、就労後の「肥満」かつ「脳の衰え」の方も気にした方がいい時代です。色々なタイプの就労先が増えているからこそ、出来るだけ多くの選択肢から「選びたい」ですよ。その為には、スキルアップ★です! スwitchの考え方ではあり、知力的な特性と特徴にもよりますが、「学問的スキル」よりも「生活力スキル」がある方が、社会への融通と応用の幅は広がります! 「作業が出来てもトイレの使い方や食事の仕方が汚い」と「言葉の発信がなくても言葉と状況の察知力がある」ならば後者の方が選択肢は広がります。ただ…数(量)に関して10までは知識としてあつた方がいいと思われれます。「生活力」は日頃の積み重ねの上での、「習慣性又は癖付け」です。完全なルーティン化にならなければ、应用到に必ず繋がります!

<小中学生のうちにやりたい!>
 生活面(衣食住に関わる事)
 「トイレ・食べ方・道具の使い方・力加減など」
 はきっちり身に付けたいです。
 また、苦手やこだわりに関しても克服や緩和に
 チャレンジ出来るならしたいです!

<高校生でやるべき事及び求められる事!>
 社会性(ルールに関する程度のある理解、報連相、応用力など)
 精神面(落ち着き、集中力、根性、意欲など)の向上!
 高校では生活面としては現状のスキルと、そのスキルに対して、小中校で
 ある程度やってきた結果としての判断で、様々な事の決定に繋がっていきます。

その30 今日の活動ポイント!

< ビジョントレーニング >

物を目で捉える力や、目で見た物を脳で処理をし、身体を使って動かす機能を高めるトレーニングです。「見る」という事は、視力以外に、自由自在に目を動かす「目からの情報を正しく脳で処理をし、それらの情報に合わせて身体の動きを調整したりするなどの機能もあります。空間認識 文字の理解度 模写 運動の不器用さ などの改善や向上にも繋がっていきます。



詳しくは
スタッフまで!